

事務事業チェックシート

事務事業No 177 事業名 霊柩自動車運行事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
基本方針	4	斎場、今福共同墓地の適切な改修、整備

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	昭和31年 ~	
事業実施の根拠法令	和歌山市霊きゆう自動車使用条例・同施行規則	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	保険総務課	坂東 貞次
関連課	なし	

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		斎場費
	大事業		斎場事業
事項		霊柩自動車運行事業	

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	対象者を霊柩自動車利用者とし、利用者の安全確保と低廉な料金による安定的な運行を行う。	霊柩自動車を1台保有し、出柩場所（市内に限定）から斎場まで運行（往復または片道）して、柩・遺族を搬送する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		霊柩自動車を1台保有し、出柩場所（市内に限定）から斎場まで運行（往復又は片道）して、柩・遺族を搬送する。	霊柩自動車を1台保有し、出柩場所（市内に限定）から斎場まで運行（往復又は片道）して、柩・遺族を搬送する。	霊柩自動車を1台保有し、出柩場所（市内に限定）から斎場まで運行（往復又は片道）して、柩・遺族を搬送する。	霊柩自動車を1台保有し、出柩場所（市内に限定）から斎場まで運行（往復又は片道）して、柩・遺族を搬送する。	霊柩自動車を1台保有し、出柩場所（市内に限定）から斎場まで運行（往復又は片道）して、柩・遺族を搬送する。

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	1,716	1,591	1,673	1,588	1,641		1,641		1,641		
	伸び率 (%)	-	-	-2.5%		-1.9%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	1,088	1,140	1,123	1,129	1,129		1,129		1,129	
		非常勤職員	176	171	171	171	171		171		171	
		小計	1,264	1,311	1,294	1,300	1,300		1,300		1,300	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他	680	291	353	200	329		329		329		
	一般財源（税等）	1,036	1,300	1,320	1,388	1,312		1,312		1,312		
	所要人数	常勤職員	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15		0.15		0.15	
非常勤職員		0.09	0.09	0.09	0.09	0.09		0.09		0.09		
主な予算内訳	管理委託料 1,439千円											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	整備件数	年度目標値							
		実績値			4	4			
	単位	件	全体目標値						
			全体目標達成度						
	運行件数	年度目標値							
実績値			26	17					
単位	件	全体目標値							
		全体目標達成度							
成果指標	事故・故障件数	年度目標値			0	0	0	0	
		実績値			0	0			
	単位	件	全体目標値			0	100.0%	100.0%	
			全体目標達成度			100.0%	100.0%		
	年度目標値								
	実績値								
単位	件	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○ 減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小		○		
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>霊柩自動車運行事業は、出棺先から斎場まで柩及び御遺族を搬送させていただいており、人生最後の葬送儀礼の一環を担う事業として行っているが、最近の利用は減少傾向にある。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>低料金で利用できるこの業務は、年間利用回数の減少、霊柩車自動車運行業務委託の経費を考えると、廃止せざるを得ない状況である。 しかし、市民サービスの一環として運行してきたことを考えると即座に廃止は難しく、利用の状況を見据え、車両の老朽化も考慮し、平成28年度を目途として廃止を検討しています。</p>